

HAWORTH

新しい才能を 惹きつけるための ワークプレイス再構築

2021年5月

ケーススタディ
Cadence Design Systems

ロケーション
スコットランド、
エディンバラ

プロジェクトタイプ
魅力的な都会のワーク
プレイスを構築する
ためのオフィス移転

デザイン会社
Form DC
obo



「企業が資産的ニーズを活用しようとする傾向に変わりはありませんが、多様でグローバルな人材のニーズを満たすことの重要性がより認識されるようになりました。」

Gary Helm, obo



概要

Cadenceは、EDAとインテリジェントシステムデザインのリーディングプロバイダーとして、電子設計のためのハードウェア、ソフトウェア、IPを提供しています。本社を米国に構え、世界中に拠点を展開しています。

2021年2月、同社はスコットランドのエディンバラ事業所を、町から約24キロメートル西に離れたビジネスパークから、エディンバラ城を見下ろすプリンズ・ストリートの一等地に移転しました。

以前のリースの更新時期となったため、この機会にCadenceはサステナビリティの見直しを図りました。20年間、リビングストーンは彼らにとって最も重要な重心的役割を担う場所となりましたが、若手エンジニアを惹きつけるのは容易ではありませんでした。「業界を率いる大手企業の多くは、都市の中心部を拠点としており、今後の雇用ニーズの満たす上でも、オフィス移転が戦略的に必要な決断であると感じていました。もちろんこうした決断は、新型コロナウイルス（COVID-19）発生前に行われたものです。パンデミック発生後は、新しいオフィス環境や内装、そして都市の中心部というロケーションが今も魅力的な要素であるのかという点について、熟考が重ねられました」と、Cadenceのソフトウェアエンジニアリンググループのディレクターは話しています。

仕様：



ロケーション
スコットランド、エディンバラ

プロジェクト仕様：
プロジェクト実施期間：16週間

プロジェクトサイズ
800 m²
1フロア
70ワークステーション

目的

競争の激しい環境でエンジニアを惹きつけ、維持することができるような、インスピレーションとモダンな雰囲気に溢れる柔軟性の高い作業環境の構築。

ソリューション

調節可能な家具や、オープンプラン、予約可能なミーティングルーム、アコースティックポッドなど、柔軟性の高いデザイン。

結果

技術的ニーズと各チームの希望を反映したデザインを採用しつつ、施設パフォーマンスの維持が可能な、明るく新しいオフィス環境。

新しい人材を惹きつけるデザイン

オフィスの場所はその地域のチームが決定しますが、コストや機能の適合性の観点からCadenceのグローバルファシリティチームが承認します。

プリンズ・ストリートは、エディンバラ中心部の主要幹線道路のひとつであり、エディンバラのメインショッピング街でもあります。この通りの大部分の通行は、公共交通機関と自転車だけに制限されています。環境に優しい場所で働きたいと考えている若いプロフェッショナルにとっては、手近なところに多くの公共施設やレクリエーションスポットがある、素晴らしい環境です。市街地や城の素晴らしい眺めを楽しむことができる内部空間は、チームの希望に応えるために設計されました。ウェルビーイング主導のワークプレイススペシャリストであるObolは、このデザインプロセスをサポートするために発展を続ける市場知識を幅広く提供しました。

新しいオフィスは、街を一望できる素晴らしいパノラマビューと明るい光に溢れる仕事環境を提供しています。

必要なプライバシーを提供可能なBuzziSpaceシリーズのBuzziWrapパーティションスクリーン付きワークステーションにより、オープンスペース内でも適切な作業集中を実現します。

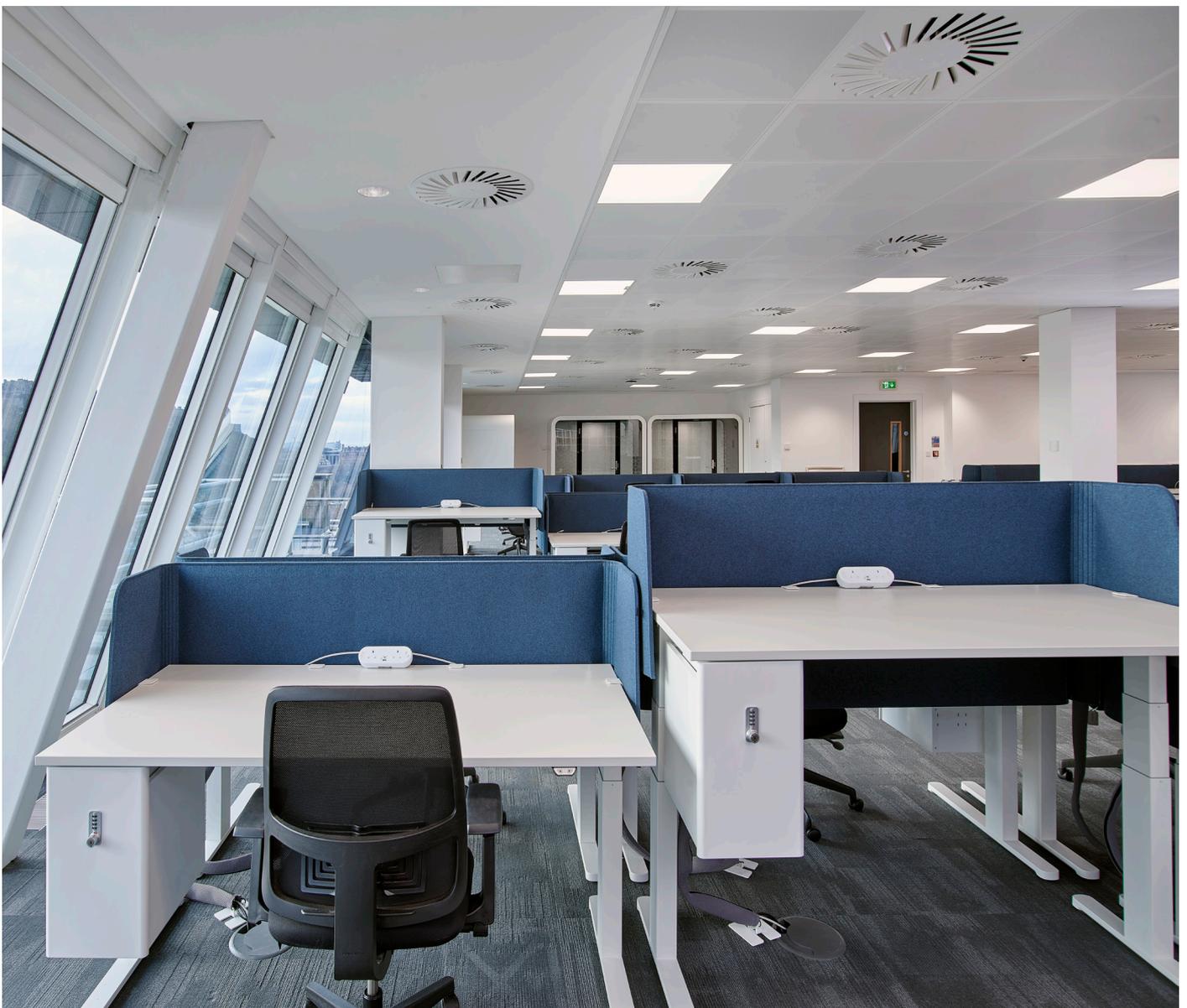


あらゆるニーズに応えるデザイン

Cadenceにとってコラボレーションが重要な要素である一方で、チームは個々で作業できるワークステーションを求めています。より柔軟性の高い作業環境を生み出すという願いは、個人空間を求めているマネージャーたちにプライベートオフィスを提供するという形で実現しました。彼らがこの空間を使用していない間は、ミーティングのために予約することも可能です。各従業員はホットデスクとは対照的な固定式デスクに割り当てられています。

人間工学とパーソナル性を重視した選択。

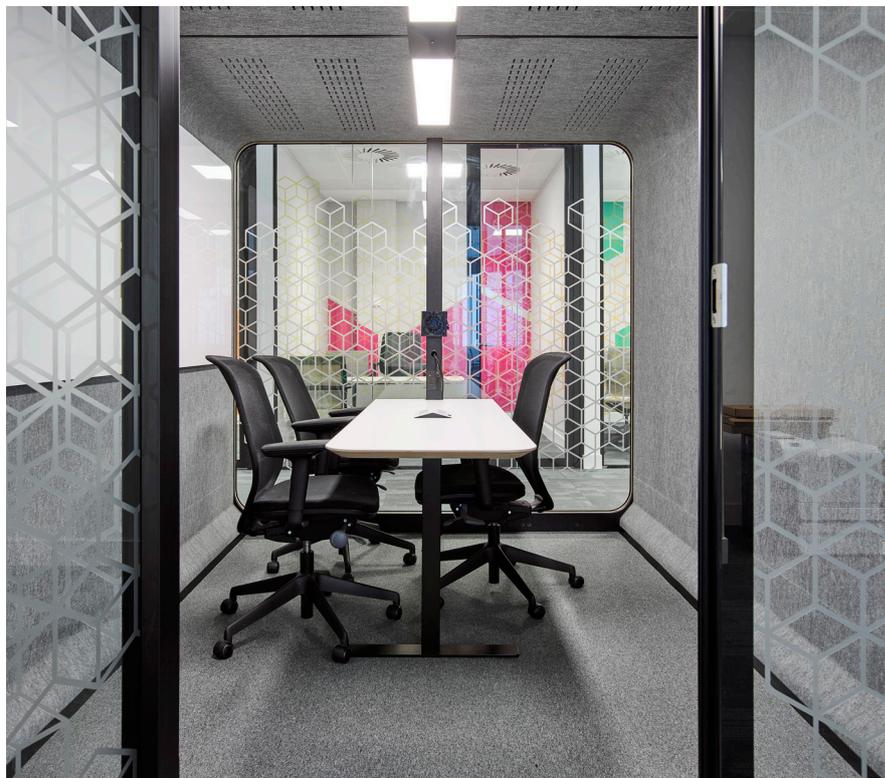
異なるスタイルのワークプレイスを、よりインスピレーション溢れる雰囲気とともに展開するというCadenceの希望を反映するために、ヘイワースのYourPlaceの高さ調節が可能なモーター駆動型デスクが選ばれました。





プライバシーのための空間。

小規模なミーティングや電話会議向けの空間には、ヘイワースコレクション (Framery) のアコースティックポッドが選ばれました。このアコースティックポッドは、オフィス内によりモダンでスタイリッシュな雰囲気を演出することができます。





コラボレーションのための部屋。

チームは、異なるニーズに応える様々なサイズのミーティングスペースを利用可能です。チーム全体で行う特別なミーティングなどは、付近のホテルで行われます。Cadenceの役員は、こうした大規模なイベントのみに利用する使用頻度の低い空間をオフィス内に構築するのではなく、外部の会場を利用するというソリューションを選びました。



Cadenceの目標は、新しい才能を惹きつける魅力を高めながら、スタッフのウェルビーイングをサポートする刺激的で効率的なオフィス環境を作ることであり、個人スペースと共有スペースの両方を求めるチームの要望に応える、柔軟なワークプレイスによって実現しました。人間工学に基づき、また快適性と現代的感覚を提供するために厳選された家具は、機敏性を実現しつつ落ち着きのある環境を作り出しています。oboの創業者であるGary Helm氏は、さらに以下のように述べています。「Cadenceのようなクライアントは、最高の価値を期待するとともに、それを受けるに相応しい企業です。このため、『Great Places to Work（優れた職場環境）』を提供するという彼らの哲学に沿うような製品を特定し、提供することが私たちの責任でした。」

使用されているハイワース製品：

YourPlace高さ調節可能デスク
Livelyタスクチェア
BuzziWrapスクリーン、BuzziSpace
Frameryアコースティックポッド
Planesミーティングテーブル